

## マーケットの動き（2023年5月29日～6月2日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

日銀の超長期債買入れオペが軟調な結果となり、週初から債券は売られました。その後、米国債務上限問題に対する警戒感が後退したほか、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官が6月の利上げ見送りを支持する姿勢を示すなど、米国金利が低下すると国内債券も買われて長期金利は低下しました。

クレジット市場は、引き続き堅調に推移する中、足元では割高感のある銘柄もみられました。

## 投資環境見通し（2023年6月）

## 国内長期金利は上昇圧力がかかりやすい

日銀が4月の金融政策決定会合後に公表した展望レポートにおいて長期的なスパンで政策レビューを行う方針を示したことから、早期に金融政策を修正するとの見方は後退しつつあります。しかし、6月会合に向けて政策修正観測が高まる可能性もあり、長期金利は上昇圧力がかかりやすいとみています。

	6月2日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.41	▲0.02	▲0.01	0.16	0.17
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	375.48	0.06%	0.22%	0.96%	▲0.97%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

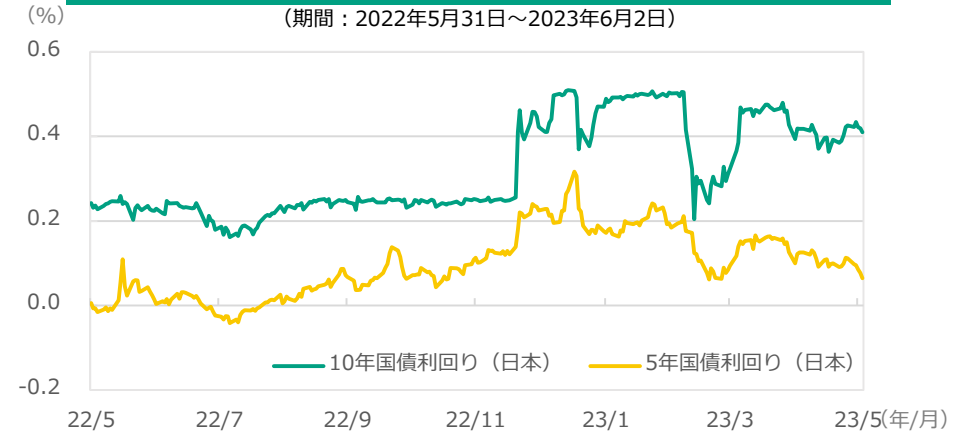
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202306\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202306_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移

（期間：2022年5月31日～2023年6月2日）



## NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2022年5月31日～2023年6月2日）



※2022年5月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成